

北海道新聞

号外

発行所
 北海道新聞社
 郵便番号 060-8711
 札幌市中央区大通西3-6
 電話 011(221)2111
 ©北海道新聞社 2016

30回彩る2万1千人 道都熱走

号砲とともに一斉にスタートするランナーたち 28日午前9時



今年で30回を迎える「北海道マラソン2016」(道陸協、北海道新聞社などがつくる組織委員会主催)が8月28日、札幌市中央区の大通公園をメイン会場に行われた。男子は木滑良(三菱日立パワーシステムズ)が2時間13分16秒で優勝。来年8月にロンドンで開催される世界陸上代表選手選考レースも兼ね

る女子は、吉田香織(T E A M R X L)が2時間32分33秒を記録しトップでゴールした。北海道マラソンは、国内で唯一、夏に行われるフルマラソン大会。今年度は昨年より2千人拡大し、ファンランを含めたエントリー数は過去最多の2万1392人となった。日本盲人マラソン協会の強化指定選手も参加した。昨年に引き続き「はまなす車いすマラソン」も合同開催された。30回の節目ということ

もあり、今大会では道内全179市町村のランナーが出場したほか、完走メダルのデザインも参加者投票で選ばれた「北海道」形とした。スタート時の天候は晴れ、気温18・0度、湿度

北海道マラソン2016

男子木滑 V 女子吉田 V



男子トップでゴールする木滑選手



女子優勝の吉田選手

66%。さっぽろテレビ塔の電光時計のカウントダウンを合図に午前9時、ランナーが一斉にスタート。沿道の市民らの声援や拍手を受けゴールを目指した。

詳しくはあすの道新・道スポをご覧ください

9月2日(金) 創刊
 毎週火・金曜日 新刊と一緒にお届け
 暮らし生活情報誌
たぽろ310
 札幌の身近な話題やイベント情報が盛りだくさん!

女子 大会記録保持者 男子



女子

嶋原 清子
(セカンドウィンドAC)
2009年(第23回)
2時間25分10秒



男子

アンベッセ・トロッサ
(テクモ)
1998年(第12回)
2時間10分13秒

大会記録通過時間

スタート	2時間25分10秒
5キロ	16分54秒
10キロ	33分28秒
15キロ	50分21秒
20キロ	1時間7分19秒
中間点 (北国銀行)	1時間11分2秒
25キロ	1時間24分25秒
30キロ	1時間42分1秒
35キロ	1時間59分43秒
40キロ	2時間17分24秒
フィニッシュ	2時間25分10秒

新人賞

第15回(2001年)	<男子>水口 紀幸 (大塚製薬)	2時間25分28秒
	<女子>藤本 絵美 (資生堂)	2時間42分40秒
第16回(2002年)	<男子>山本 佑樹 (旭化成)	2時間15分17秒
	<女子>堀江 知佳 (積水化学)	2時間26分11秒
第17回(2003年)	<男子>中崎 幸伸 (トヨタ九州)	2時間13分26秒
	<女子>野畑 麻衣 (サニックス)	2時間39分49秒
第18回(2004年)	<男子>北川 敬大 (大塚製薬)	2時間14分48秒
	<女子>根来 亜紀 (北国銀行)	2時間37分51秒
第19回(2005年)	<男子>ムツリ・カリウキ (九電工)	2時間16分9秒
	<女子>渡辺 芳子 (積水化学)	2時間43分17秒
第20回(2006年)	<男子>久保田 満 (旭化成)	2時間17分52秒
	<女子>吉田 香織 (資生堂)	2時間32分52秒
第21回(2007年)	<男子>中尾 勇生 (トヨタ紡織)	2時間23分29秒
	<女子>重田 明穂 (旭化成)	2時間42分19秒
第22回(2008年)	<男子>中本 健太郎 (安川電機)	2時間15分21秒
	<女子>佐伯 由香里 (アルゼ)	2時間31分50秒
第23回(2009年)	<男子>山本 亮 (佐川急便)	2時間12分10秒
	<女子>谷 奈美 (アルゼ)	2時間33分59秒
第24回(2010年)	<男子>サイラス・ジュイ (日立電線)	2時間11分22秒
	<女子>岡本 美鈴 (北国銀行)	2時間48分14秒
第25回(2011年)	<男子>福山 真魚 (九電工)	2時間22分26秒
	<女子>古瀬 麻美 (京セラ)	2時間36分55秒
第26回(2012年)	<男子>一花 建 (石川陸協)	2時間25分27秒
	<女子>田端 沙紀 (大塚製薬)	2時間50分14秒
第27回(2013年)	<男子>飯田 明徳 (Honda)	2時間15分20秒
	<女子>渡辺 裕子 (エディオン)	2時間29分13秒
第28回(2014年)	<男子>篠崎 晋道 (日立物流)	2時間17分22秒
	<女子>天児 芽実 (キャンオンA九州)	2時間37分42秒
第29回(2015年)	<男子>伊藤 裕哉 (トヨタ自動車)	2時間18分59秒
	<女子>岡田 唯 (大塚製薬)	2時間32分10秒

※新人賞は、2001年の第15回大会に設立。大会当日満25歳以下でフルマラソン3回以下の選手を対象に表彰。2013年の世界陸上(モスクワ)5位入賞の中本健太郎は2008年に受賞している。

歴代優勝者

第1回(1987年)	<男子>フョードル・リジョフ (旧ソ連)	2時間24分28秒
	<女子>リュッツヤ・ベリヤエバ (旧ソ連)	2時間42分17秒
第2回(1988年)	<男子>西 政幸 (旭化成)	2時間17分11秒
	<女子>ジェーン・ウェルゼル (米国)	2時間40分53秒
第3回(1989年)	<男子>谷口 浩美 (旭化成)	2時間13分16秒
	<女子>ローレイン・モラー (ニュージーランド)	2時間36分39秒
第4回(1990年)	<男子>篠原 太 (神戸製鋼)	2時間15分32秒
	<女子>リサ・ワイデンバック (米国)	2時間31分29秒
第5回(1991年)	<男子>藤田 幸一 (沖電気宮崎)	2時間17分5秒
	<女子>ローレイン・モラー (ニュージーランド)	2時間33分20秒
第6回(1992年)	<男子>マイケル・スカウト (南アフリカ)	2時間16分38秒
	<女子>オルガ・アペル (メキシコ)	2時間30分22秒
第7回(1993年)	<男子>タデッセ・ゲブレ (テクモ)	2時間15分34秒
	<女子>藤村 信子 (ダイハツ)	2時間33分10秒
第8回(1994年)	<男子>エリック・ワイナイナ (コニカ)	2時間15分3秒
	<女子>オルガ・アペル (米国)	2時間36分33秒
第9回(1995年)	<男子>タデッセ・ゲブレ (テクモ)	2時間15分7秒
	<女子>有森 裕子 (リクルート)	2時間29分17秒
第10回(1996年)	<男子>ブルック・ベケレ (テクモ)	2時間14分26秒
	<女子>安部 友恵 (旭化成)	2時間31分21秒
第11回(1997年)	<男子>エリック・ワイナイナ (コニカ)	2時間13分45秒
	<女子>小倉 千洋 (和光証券)	2時間33分30秒
第12回(1998年)	<男子>アンベッセ・トロッサ (テクモ)	2時間10分13秒
	<女子>山口 衛里 (天満屋)	2時間27分36秒
第13回(1999年)	<男子>松本 政大 (NTT西日本)	2時間12分8秒
	<女子>松尾 和美 (天満屋)	2時間32分14秒
第14回(2000年)	<男子>ディオニシオ・セロン (メキシコ)	2時間17分14秒
	<女子>市河麻由美 (三井海上)	2時間32分30秒
第15回(2001年)	<男子>佐々 勤 (旭化成)	2時間13分45秒
	<女子>千葉 真子 (佐倉アスリート倶楽部)	2時間30分39秒
第16回(2002年)	<男子>サムソン・カンディエ (ケニア)	2時間15分12秒
	<女子>堀江 知佳 (積水化学)	2時間26分11秒
第17回(2003年)	<男子>エリック・ワイナイナ (コニカミノルタ)	2時間13分13秒
	<女子>田中 千洋 (トクセン工業)	2時間34分11秒
第18回(2004年)	<男子>ラバン・カギカ (JFE)	2時間12分20秒
	<女子>千葉 真子 (豊田自動織機)	2時間26分50秒
第19回(2005年)	<男子>渡辺 共則 (旭化成)	2時間14分50秒
	<女子>千葉 真子 (豊田自動織機)	2時間25分46秒
第20回(2006年)	<男子>渡辺 共則 (旭化成)	2時間17分50秒
	<女子>吉田 香織 (資生堂)	2時間32分52秒
第21回(2007年)	<男子>ジュリアス・ギタヒ (日清食品)	2時間17分26秒
	<女子>加納 由理 (セカンドウィンドAC)	2時間30分43秒
第22回(2008年)	<男子>高見沢 勝 (佐久長聖教員クラブ)	2時間12分10秒
	<女子>佐伯由香里 (アルゼアスリートクラブ)	2時間31分50秒
第23回(2009年)	<男子>ダニエル・ジュンガ (ヤクルト)	2時間12分3秒
	<女子>嶋原 清子 (セカンドウィンドAC)	2時間25分10秒
第24回(2010年)	<男子>サイラス・ジュイ (日立電線)	2時間11分22秒
	<女子>原裕美子 (ユニバーサルエンターテインメント)	2時間34分12秒
第25回(2011年)	<男子>アルン・ジョロゲ (小森コーポレーション)	2時間14分10秒
	<女子>森本 友 (天満屋)	2時間33分45秒
第26回(2012年)	<男子>川内 優輝 (埼玉県庁)	2時間18分38秒
	<女子>吉住 友里 (大阪長屋AC)	2時間39分7秒
第27回(2013年)	<男子>五ヶ谷宏司 (JR東日本)	2時間14分26秒
	<女子>渡辺 裕子 (エディオン)	2時間29分13秒
第28回(2014年)	<男子>辻 茂樹 (大塚製薬)	2時間15分24秒
	<女子>野尻あずさ (ヒラツカ・リース)	2時間30分26秒
第29回(2015年)	<男子>藤原 新 (ミキハウス)	2時間16分49秒
	<女子>岡田 唯 (大塚製薬)	2時間32分10秒

※1987、88年は別競技場〜宮の沢1-1折り返しで実施。1989〜2008年は真駒内屋外競技場〜中島公園で実施。2009〜11年は中島公園東側(豊水通)〜大通公園西8丁目まで実施。2012年からは大通公園西4丁目(駅前通)〜大通公園西8丁目まで実施。

北海道マラソン 交通遺児チャリティー募金のお知らせ

北海道マラソンはこれまで、全国の市民ランナーのご支援をいただき「北の都・札幌」の公道で開催してきた大会として、不幸にも同じ公道で事故に遭われたご家族などを励ます目的で「交通遺児チャリティー募金」を実施しています。本大会参加料の一部と、コース沿道などで応援されている皆さまへ募金活動を行い、北海道交通遺児の会へ寄付させていただきます。チャリティーを通じた交通安全の啓蒙普及と交通事故防止の呼びかけに、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

チャリティー募金口座(2016年9月11日締め切り)
◎北洋銀行 普通 1830043 ◎郵便振替 02720-1-56038
◎ゆうちょ銀行 当座 0056038
◎口座名(いずれも)北海道マラソンチャリティー事務局
<お問い合わせ>
北海道マラソン事務局
〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6
北海道新聞社事業センター内
☎011-232-0840
(平日の午前10時〜午後5時)